

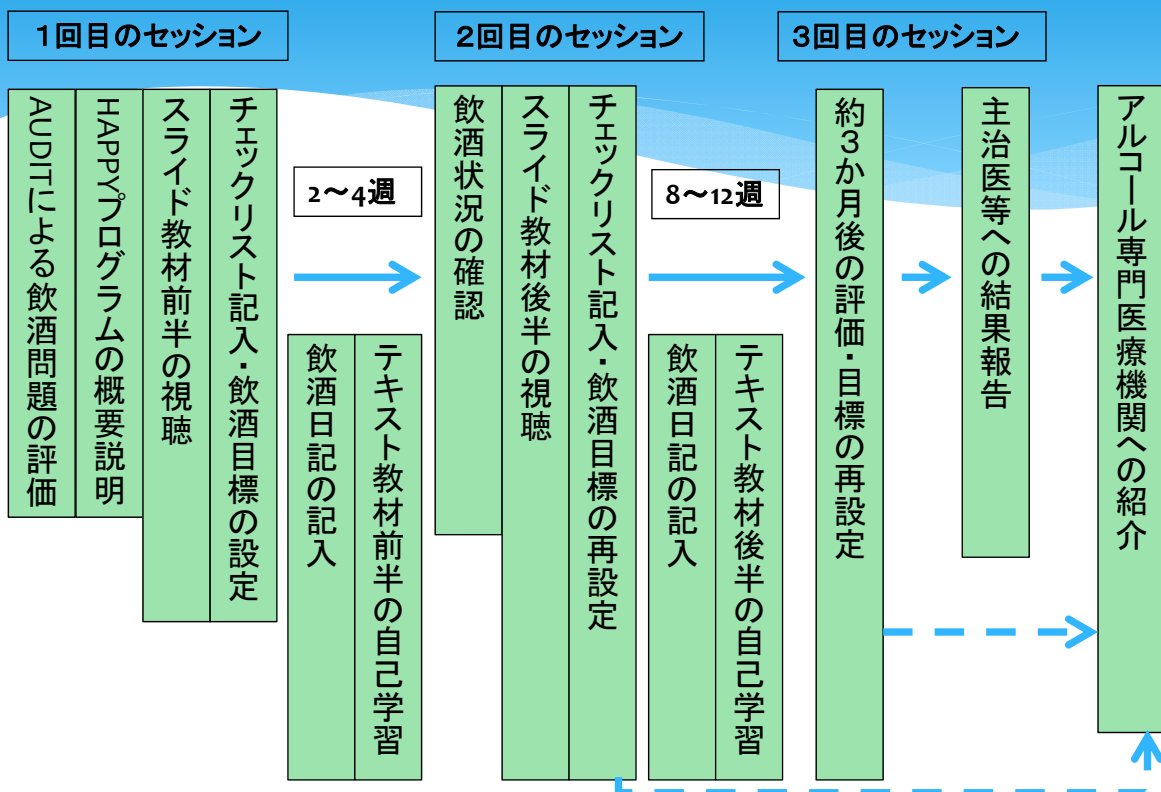


潤水都市 さがみはら

HAPPYプログラムに関する保健師のつぶやき

- 対象者はいるだろうが、彼らが自らの意志で参加するだろうか？
- 肝臓病予防教室等と異なり、アルコール依存症のことはよく知らない
- 保健指導で健診データが改善されれば（これが目的）それで支援終結
- 保健指導に参加してこなければ、それまでのこと
- 過去の健康教育や啓発活動は、飲むためのお墨付きを与えていたのか？
- 飲酒を材料に、自分はどうなりたいのかを考えるきっかけを提示した
- 自由な発言ができる雰囲気によって本音が出ている
- 出席率・宿題の履行に驚く
- 失敗しても気持ちを分かち合い、自身の飲酒や生き方を振り返っていた
- スタッフはプログラムに従い、エビデンスに基づく情報提供のみ
- 彼らが自分なりの方策を見出し、試していった
- ファシリテートのみで、過去の健康教育とは雰囲気が明らかに異なる
- 個々の目標達成度に関わらず、会話が深いという印象、さすがSBI
- 個別面接では到底困難でも、これこそグループで行うことの強みか

HAPPYプログラムを用いた3回の介入の概要



(肥前精神医療センター 特定保健指導にも使える集団節酒プログラムより 一部改編)